

5月20日(土)、つなぎ温泉四季彩のモノレール車両が一新しました。デザインを担当したのは「アーティスト・イン・レジデンスつなぎ」の2015年の招聘作家、画家の武内明子さん。町の鳥「やまどり」、町の花「つわぶき」など、津奈木町の自然をイメージして描き、車両にラッピングしたものです。前車両のレトロな雰囲気から、鮮やかで目を引くものになりました。モノレールに乗って、展望露天風呂からの絶景を堪能しませんか。

## つなぎ温泉四季彩モノレール車両更新 画家・武内明子さんデザイン 津奈木町を描いた モノレールへ一新



武内さんがデザインした新モノレール車両



ドアのデザインは柑橘や蝶、花などの自然がモチーフとなっている



ホームドアに描かれているのは温泉に入って体が温まったヤマドリ

### INTERVIEW



武内 明子さん

町鳥のやまどり、町花のつわぶきをモチーフに、モノレールを一つのキャンバスに見立て、絵を描くようにデザインしました。絵の具の垂れやにじみ、筆跡も楽しんでもらえたらうれしいです。一番のお気に入り、つわぶきの花ライト。光って入口側に向かってくる姿はお客さまを歓迎しているかのようです。大好きな津奈木町のシンボルでもあるモノレールのラッピングデザインをさせていただきました。また津奈木に遊びに行きます。

### 【プロフィール】

1983年熊本県生まれ。絵画を軸としながらも陶板、日記、動画などさまざまな手法を用いた表現活動を行っている。2015年には「アーティスト・イン・レジデンスつなぎ」の招聘作家として津奈木町に滞在しながら制作に臨んだ。



1\_3\_丸太から仏像を彫り出す 2\_参加者それぞれの個性豊かな「ミニ達仏」が完成 4\_ワークショップ参加者全員で記念撮影 5\_作品に合わせて森さん(左から2人目)が丁寧に指導 6\_《達仏》制作時の思いを語る森さん 7\_完成した仏像を金色に塗る

### ワークショップ「みんなで達仏をつくろう」

## 世界にひとつだけの「ミニ達仏」

### 達仏メンテナンス

《達仏》は仏像が生木に直接彫られているため、時間が経つとキノコが生えたり木の枝が見えなくなったりします。森さんが中心となって、傷付けないよう鎌で木の枝を切り落とし、下地塗り、金色の塗料で仕上げていきました。輝きを増した《達仏》をぜひご覧ください。



5月20日(土)、つなぎ美術館で、ワークショップ「みんなで達仏をつくろう」が開かれ、10人が参加しました。《達仏》の制作に携わっている熊本在住の彫刻家・森英顕さんの指導で、丸太から仏像を彫っていきました。丸太に大まかなラインを描き、ノコギリやノミ、木づち、彫刻刀を使って、自由に彫っていきます。最後は《達仏》と同じように仏像を金色に塗り、世界にひとつだけの「ミニ達仏」が完成しました。参加者からは「小学生ぶりに彫



《達仏》

刻刀を使い、なつかしい気持ちになった。同じ道具、同じ時間で取り組んだのに、参加者それぞれの個性豊かな仏像が出来上がり面白かった」と話していました。